

第61回伊勢原市乳用子牛育成管理共進会講習会が開催されました

令和6年9月10日（火）に、第61回伊勢原市乳用子牛育成管理共進会講習会が開催され、伊勢原市や平塚市の酪農家、市、県関係機関及び関係団体から32名が参加しました。

この講習会は、伊勢原市内の酪農家の乳用子牛の育成管理技術の向上を目的とし、毎年開催されていますが、今年度は自給飼料についての講演希望があり、内容を変更して開催することになりました。

普及指導課は「デントコーンの生育状況と雑草対策」として、デントコーンの収量調査の方法、害虫の食害及び雑草等について、伊勢原市の酪農家が栽培するほ場を参加者に見てもらいながら、現地で解説を行いました。

続いて、会場を伊勢原市太田公民館に場所を移し「デントコーン、イタリアンライグラス及び稲WCSの栽培」及び「神奈川県飼料作物推奨品種」をテーマに、栽培上の注意点、除草剤や土壌処理剤の使用方法及び稲WCS収量調査の結果等について講演を行いました。

会場からは、除草剤の使用方法等、雑草対策について複数の質問があり、活発な意見交換を行うことができました。

さらに、明治飼糧株式会社から「子牛の生理と栄養管理」について講演が行われました。当課も継続して講習会に出席し、意見交換に参加しました。

畜産技術センターは今後も事務局と協力し、酪農家の飼養管理技術の向上や自給飼料の活用等を支援していきます。

伊勢原市乳用子牛育成管理共進会事務局（伊勢原市農業振興課内）では、年に一度、伊勢原市内の酪農家を対象とした子牛の育成管理に関する研修会を開催しており、畜産技術センターは、講師を務めるなど、当日の運営に協力しています。



ほ場講習の様子



室内講習の様子